

ささめがわ村

No
166

令和3年11月

みんなのぎがくだより

題字：鮫川小学校

6年 生田目 真優さん



9月定例会

令和2年度決算など可決! 2~3

議案調査・現地調査…………… 4

一般質問に5議員登壇…………… 5~10

議員全員協議会他…………… 11

村民の広場…………… 12

会計別決算状況

会計別	歳入	歳出	採決の結果	
一般会計	48億1977万円	44億6059万円	多数賛成	
特別会計	国保事業勘定	3億9793万円	3億9366万円	全員賛成
	直診勘定	7189万円	6938万円	全員賛成
	簡易水道事業	1億4231万円	1億3729万円	全員賛成
	村営バス事業	1100万円	1055万円	全員賛成
	集落排水事業	3422万円	3288万円	全員賛成
	介護保険	4億9219万円	4億8455万円	全員賛成
	交流施設	1452万円	1345万円	全員賛成
	学校給食センター	1億299万円	1億266万円	全員賛成
	後期高齢者医療	3876万円	3872万円	全員賛成
合計	61億2558万円	57億4373万円		

令和2年度の主な事業



宿泊施設改修工事
7130万円



新型コロナウイルス感染症対応地方
創生臨時交付金 2億2560万円



元年災 公共土木施設災害復旧工事
2億6343万円



青少年広場大規模改修工事
1億6368万円

財布の中身を

点検!



— 状況は健全と判断 —



監査委員による事業実績の審査及び現地調査



関根政雄 村長

9月定例会の
あらまし

令和3年第4回議会定例会は、9月14日から21日までの8日間の会期で開催されました。
今定例会は、条例の一部改正や補正予算のほか、令和2年度会計の決算認定、人事案件など30議案と、議員発議による意見書の提出1件が審議されました。また、一般質問では5名の議員が登壇し、様々な問題を取り上げ、村政について質しました。提出された議案は、全て原案どおり可決・同意しました。

令和2年度
決算

黒字決算を認定

補正 予算 一般会計

4億5273万円を追加 総額32億433万円に



さめがわ村を元気に!!

主な事業



地域商品券発行事業 3277万円



自家用水道施設整備事業 104万円



道路維持工事事業 1100万円



中学校校舎修繕事業 193万円

新型コロナウイルスの感染拡大は、各方面に甚大な経済的・社会的影響を及ぼし、国民生活への不安が続いている。地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況である。地方創生、雇用対策、防災・減災対策、デジタル化や脱炭素社会の実現とともに財政需要の増高が見込まれる社会保障等への対応に迫られているため、地方税財源の確保・充実を実現させることを国に求めた。

国に意見書 提出

- 岡部 忠市氏【新】
(66歳・世々麦)
 - 藤元健次郎氏【再】
(73歳・藤平)
- 固定資産評価審査委員会委員の選任(任期3年)

同意

議案調査

事業実績などを 検証



議案の説明を受ける常任委員会

令和2年度の事業実績や、今年度の各事業について各常任委員会による合同調査を実施し、現地調査にて現状を確認しました。

産業厚生 常任委員会

- 問** 地域活性化企業人負担金 280万円
- 答** 地域活性化企業を設置する経費
- 問** 買って送って農家応援事業 100万円
- 答** 帰省できない村出身者等へ村の農産物や牛肉などを宅配する費用の一部負担

- 問** 村道等道路維持補修工事 1100万円
- 答** 河川堆積土砂撤去工事(真坂川)他8箇所

- 問** 村の食材PR・生産者支援オンラインイベント事業 150万円
- 答** ソーシャルネットワークサービスを活用したオンラインイベント業務費用

総務文教 常任委員会

- 問** さめがわファンクラブ(ラッシュユアップ事業) 435万円
- 答** さめがわファンクラブ会員の会報作成、発信
- 問** 消防費の工事情負費 164万円
- 答** 西野グラウンドに県防災へり離着陸場を整備
- 問** 光ファイバ支障移転工事 232万円
- 答** 巡ヶ作地内他2箇所の移転工事

- 問** 財産管理費の積立金 3億6525万円
- 答** 決算剰余金による各種基金積み立て

主な基金残高

	財政調整基金	教育施設整備基金	公有施設整備基金
平成27年度	8億8563万円	7996万円	4億9471万円
平成28年度	7億6726万円	2億138万円	7億376万円
平成29年度	6億1798万円	2億7439万円	8億1607万円
平成30年度	5億6413万円	3億708万円	8億3638万円
令和元年度	4億8231万円	3億326万円	7億8430万円
令和2年度	5億8348万円	3億3449万円	7億108万円



村道官沢西山線 落合地内



タブレット端末活用の説明



提供されている給食の試食

議員5人が登壇ズバリ!! 村政を問う!



P 6

北條 利雄

- 集落組織の変容
- 医療と介護
- GIGAスクール構想



P 9

関根 英也

- 医師確保



P 7

宗田 雅之

- 小中学校の存続
- 砂防ダム



P10

前田 武久

- 医師確保
- 災害復旧事業



P 8

関根 浩治

- ワクチン接種状況
- 環境整備公社

一般質問は、議員の日常活動を通じて、住民の声や自身の考え方をもとに、村長、教育長などの方針を問うものです。鮫川村議会は、一人あたり90分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

出席議員

議事の進行



星 一彌 議長



前田 雅秀 議員



堀川 照夫 議員



遠藤 貴人 議員



森 隆之 議員



北條 利雄 議員

問 集落組織の変容と 改革の方向性を問う

答 時代に合った組織の あり方の検討を重ねる

質問

集落組織は、基礎組織として位置付けられ、情報伝達や意見の取りまとめ、事業推進・協同活動など重要な役割がある。集落組織の変化は、構成人員の減少と高齢化の強まりや農家の多様化と非農家の増加という多様性がある。協同活動の単位や地域の連携連帯との重要性に鑑み、さらに強化しなければならぬ。地域の将来的な方向性を視野に入れた積極的な組織改善と取組みが課題であり、行政の主体性を発揮させる時期にある。集落組織の変容に対応した改革の方向性を問う。

答弁(村長)

時代の変化とともに、組織のあり方を見直す時期にある。過疎化の進行による地域コミュニティをいかに維持するか、地域リーダーをどのように養成するかなど、重要な課題である。集落や地域の方々が主役であり、その地

域の課題や問題についての解決方法を探る。ご意見や各組織の意向を伺い、相談し時代に合った組織のあり方の検討を重ねる。

問 医療と介護の総合的な確保を問う

答 安定的・効率的な体制整備に努める

質問

村民一人一人が、医療や介護が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、地域で人生の最期を迎える環境を整備していくことは喫緊の課題である。利用者の視点に立つて切れ目のない医療と介護の提供体制を構築し、自立と尊厳を支えるケアを将来にわたって持続的に実現していくことが、医療と介護の総合的な確保の意義がある。長期視点に立った、医療と介護の総合的な確保の対応とを考えを問う。

答弁(村長)

人口構成比率の変化。認知症高齢者の増加。世帯構成比率の変化など超高齢化社会に向けての改革の趣旨がある。地域医療の拠点となる国保診療所の医師の確保、保険事業と医療サービス、介護予防と介護サービス、これらが一体化した体制整備の構築を安定的・効率的に事業が運営できる体制整備に努める。

問 GIGAスクール構想の課題を問う

答 力量に応じた研修、個人情報管理、漏洩事故防止に努める

質問

GIGAスクール構想は、子どもたち一人一人に合った新しい教育を実現できる可能性があり、期待される効果も大きい。この構想は、端末やネットワーク整備の実現を目指すものではなく、その先の教育こそが本丸。

教職員への情報教育や指導、支援員の派遣など人的サポートを含めた教育スキル不足対策。個人情報などを防ぐ、情報セキュリティ対策についてのガイドラインの作成と活用対策を問う。

答弁(教育長)

指導員を派遣し、力量に応じた計画的な研修を実施。授業における教員の活用力の向上を図っている。子供や保護者の個人情報をはじめ、機密事項の漏洩は、あってはならない。

タブレット端末運用規定を策定、使用のルールを配付し、安全な使用を指導し情報モラル教育も計画的に行っている。個人情報に関する運営要領、セキュリティポリシーなどを作成し指導している。個人情報の管理に十分に留意して、漏洩事故の防止に努める。

※「GIGA」ギガは(全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)を意味する。



タブレット端末での授業風景(鮫川中学校)



武藤 誠 教育長



宗田 雅之 議員

問 小中学校の 存続について伺う

答 独自の特色ある 教育実現に向け対応する

質問

未婚者の増加、若者の村外への流出、さらに学習・スポーツの一層の向上を図るため、村外の学校に就学する子供達の増加に伴い、年々減少する児童の数。これらの流れが続くことにより、学校の存続が危惧されるが、村として、現状をどのように捉えているのか伺う。また、現在進められている、小中一貫校の意義と進捗状況は。

答弁(教育長)

人口動向として児童・生徒数のある程度の減少はやむを得ないと考えるが、減少幅を少しでも抑えられるよう、様々な手立てを講じていく。また小中一貫校に移行することは、これにより村の教育方針が明確になり、地域住民も一体となって教育に取り組むことができる。その他にも、中一ギャップの解消や幅広い人間関係の熟成など、教

育的課題の解決に向け、多くの意義を見いだすことが出来ると考える。進捗状況は、今年の4月に教育委員会としての考え、方針を保護者に伝えた。その後、検討委員会を立ち上げ話し合いを進めている所である。今後さらに検討を重ねて、実現に向け取り組んでいく。

再質問

以前の進学状況を見ると、村外の学校に行かなくても学力の向上を図ることが出来ると考える。保護者との話し合いも必要と思うが、地域に子供の声が少なくなることは村の活性化に歯止めがかかる。

答弁(教育長)

子供、保護者の考えを尊重することも大事だと思う。でも、それに負けないくらいの魅力的な学校づくりをしていく。

問 砂防ダムへの対応は

答 県と情報の共有を図り、現状の把握に努めていく

質問

多くの砂防ダムに土砂が堆積し、堰堤の上層部から水が流れ落ちている。今後、温暖化に伴い、過去を超えるような降雨により、土砂が流出することが予想されるが、現状をどのように捉えているのか、また関連する河川の整備も急務と思うが村長の考えを伺う。

答弁(村長)

砂防ダムは福島県砂防整備長寿命化計画に基づき、県が維持管理を行っており、施設の劣化に応じて、2年から6年に一度点検を実施し適切な維持管理に努めている。堆積物等により施設の機能を著しく失っているような場合には、除去等について検討していくとの回

答を頂いている。今後とも県と情報を図り、現状の把握に努めていく。また河川の整備に関しては、当面の対策として、河川に堆積した土砂の撤去を行うことで、流下能力の維持・向上を図り、災害の未然防止に努める。



生徒の減少が進む中学校

◀次のページは 一般質問 関根浩治議員・関根英也議員



関根 浩治 議員

問

新型コロナウイルスワクチン 接種の状況を問う

答

現状は、1回接種率82.6% 2回接種率65.8%

質問

村での、新型コロナウイルスワクチン接種の状況について問う。

答弁(村長)

古殿クリニックの協力で、5月29日から土曜日接種を開始。また郡山市在住医師により、平日ワクチン接種が可能になり順調に進め、接種希望村民へは、10月2日を持って終了予定。

再質問

新型コロナウイルスワクチン接種対象者、2988名の接種内訳について問う。

答弁(村長)

まず、65歳以上の高齢対象者1349名、55歳～64歳491名、45歳～54歳273名、35歳～44歳315名、23歳～34歳277名、16歳～22歳171名、12歳～15歳12名で内訳は、グラフのとおりで、1回接種率は、82.6%、2回接種率は65.8%。

(9月10日現在)

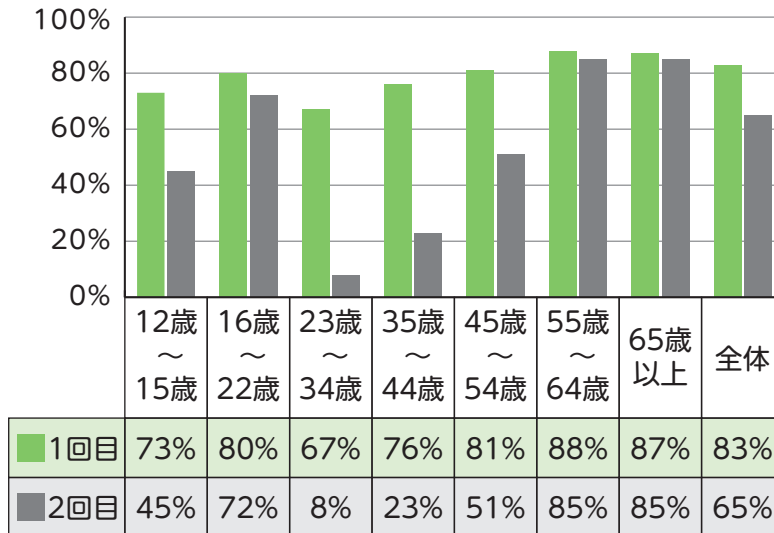
再質問

若い方の未接種が多い傾向にあり、命を守る最良方法であるので、再度の周知を問う。

答弁(村長)

ワクチン接種は、本人の意思を尊重すること

新型コロナワクチン接種率



であるが、適当でない情報が拡散されたこと等があり、それに惑わされないように、今後接種をあらゆることなく、接種広報は進める。

環境整備公社設立の進捗状況を問う

答 遅くとも来年度、早ければ今年度、には設立

質問

環境整備公社設立の進捗状況を問う。

答弁(村長)

環境整備公社の設立に向けて、昨年度庁内に、プロジェクトチームを立ち上げ、六回にわたって検討を進め皆様から概ね理解が得られた。民間業者を圧迫しない様な業務形態を模索しているが、収益確保等の課題が残る。今年度は、商工会やシルバ人材センター・村内企業等への説明や公社設立への理解促進に努め、今年度中、及び来年度をめぐりに稼げる組織と里山景観環境保全維持を担うなどの様々な課題を慎重に検討しながら進める。

再質問

新たな雇用の確保の期待と、設立時期について問う。

答弁(村長)

設立時期は、早ければ年度内に設立し、資本金等の問題があるが、業者の方から、資本金への協力について条件はあるが、協力申し出もある。民間企業からの資本金の協力やクラウドファンディング等、あらゆる方策を考えて行きたい。

※クラウドファンディング 群衆(クラウド)と資金調達(ファンディング)を組み合わせた造語であり、不特定多数の人が、インターネット経由で、他の人々や組織に財源の提供や協力を行うこと。



荒れる農地



関根 英也 議員

問 診療所の常勤医師確保の見通しについて尋ねる

答 10月上旬から新たな医師で診療を始められる見通しがたった



常勤医師が就任する保健センター

質問

新型コロナウイルス ワクチン接種が急がれる中で、4月に着任したばかりの医師が突然退職されるといふ異常事態が発生してから約半年が経過する。このあたりを受け、ワクチン接種は遅れ、一般診療も週1回となったため村民は

不安と心配を抱き1日も早い常勤医師の確保を切実に願っている。村は現在常勤医師確保のため、どのような働きかけをしているのか。この間の診療所の運営状況とともに常勤医師確保の見通しについて尋ねる。

答弁(村長)

診療所は現在、常勤医師不在のまま運営しており、診療日が毎週木曜日の午後だけということもあり、大変混雑しているようである。村としても一日も早く常勤医師を確保するため、様々な働きかけを行ってきたが、村のホームページを見た県内の医師から応募があり、現在採用に向け交渉中である。最短で10月上旬から診療開始を目指して交渉中である。

再質問

常勤医師の確保見通しが立ったことは大変喜ばしいことである。4月に着任した医師が1週間も経たないうちに退職されたようだがどのような契約をしていたのか。

答弁(村長)

退職された医師は、着任してわずか数日間で、健康上の理由で退職願いを提出してきた。大変困惑したが、総合的に勘案して受理した。

議会の方から慎重に面接したのか、身元調査をしたのかという指摘を受けているので今後は慎重に対応したい。退職された医師に対する報酬等の支払いは勤務日数に応じ日割り計算により支払った。

再質問

今度採用予定の医師は村の医師住宅に住み常駐されるのか。診療時間、日数はどのような契約になるのか。

答弁(村長)

赴任予定の医師は村外からの通勤になる。診療日数は週5日ではなく、それより短くなる。

再質問

週4日ぐらいで通勤という形のようなのだが在宅介護をしている家族、老人介護施設などから夜間急変した場合の対応が一番心配だという声を耳にする。また、村民の定住、移住者を迎えるためにも村内に居住して診療してく

答弁(村長)

れる医師の確保がどうしても必要だと思つた。このような体制づくりに向け、引き続き取り組んで欲しい。村が用意している医師住宅に住み、夜間の急患にも対応できるような体制が理想だと思う。現在交渉中の医師は通勤が希望のようなので、夜間も対応してもらえるか相談したい。



前田 武久 議員

問 将来を見据えた医師確保を図るべき

答 定住される若い医師の公募をめざしたい

質問

医師不在から半年となる。村民の命、暮らし、安心・安全を守るのが行政の使命である。現在診療、薬の調達も制約され、さらにコロナ感染など、住民の不安、恐怖は増すばかりであるが、ようやく診療所医師確保の見通しがついたとのことであるが、本村定住は難しいとのこと。緊急医療には不安が生じると思うが、これから先の無医村状況、医師確保への考えを伺う。

答弁(村長)

現在、県の医師会と連絡調整を取りながら、9月中旬に契約が締結される。

再質問

答弁もれに付、今後万が一医師不在の状態が生じる場合に対しての心構えは。

答弁(村長)

過去の医師の在籍を見ると、地元根差し、一生身をうづめる形

医師の存在はなかった。本村に定住され地域医療を支える、若い年齢の医師確保、奨学金制度活用で医師の育成をめざしたい。

問 3年越し元年災の復旧事業は

年度末までほぼ完了予定。未完了分は取下げ

質問

台風19号過年度災。再三延期の進捗状況を尋ねる。

①住宅背後地②住宅再建③農地等小規模災害支援④自力施工⑤公共補助事業(公共土木27



元年災復旧状況調査

件)⑥農地等施設災害(43件) 再三延期された工事更新、提出を求めた資料について伺う。

答弁(村長)

①住宅背後地 繰越3年度分で2件の廃止申請のほか3件が未完了。②住宅再建支援事業2年度中に完了。③農地等小規模災害復旧支援事業(村単独8割補助)3年度繰越12件のうち4件未完了。⑤公共土木災害復旧工事7件のうち3件が竣工、残り4件、工期12月25日⑥農地等施設災害復旧工事繰越分11件のうち5件竣工残り工期12月25日完成をめざす。

再質問

農地等施設災害復旧工事が繰越により2年作付け不能。3年竣工と同時に負担金が課された。普通、農地災は国が95%残り5%が条例で村、受益者割2分の1であるが、元年災は激甚指定で、測量、設計費含めて補助率上がるはず、徴収金額の負担率何%か。

答弁(地域整備課長)

激甚指定ということ、98%と記憶している。

再質問

国庫補助98%、残り2%が分担金間違いないか。

答弁(地域整備課長)

工事費、設計費の補助金が98%で残り2%が村と受益者折半。

再質問

詳細の資料を求めた理由は、激甚農地災の補助率確認でしたが、提出がなかった。課せられた負担金からの計算では約11.8%になっ

ている方もいる。納得できない。すでに徴収されており再度答弁を求めらる。

答弁(村長)

2%と11.8%指摘の差異、担当課で調べ原因を探りたい。

再質問

工期の遅延で、2年の不作補償もなく、高額な負担金を徴収された苦情がきている。負担率(村、受益者で2分の1)2%の答弁が違うとなれば、村民からの不信感をおおることになるので再度答弁を。

答弁(村長)

会期中に誤りかを明確にし資料を提出指導する。2年間作付け不能者への補償はできない。受益者へ丁寧な説明をしている。

※一般質問終了後、村長、地域整備課長が誤りを報告する。激甚指定農地災工事費の補助95.6%。測量設計が国で概ね半分、残り村と受益者という訂正する。

議員全員協議会を実施!!



議員全員協議会において、広報公聴会の開催について検討した結果、感染拡大防止に向けた取り組みを徹底することから、広報広聴会の開催延期を決定しました。
また今後、議員定数や議員報酬の検討が必要であることも確認しました。

ゆうきくん
からの
お願い

議会傍聴に
来てくんちナイ!
12月定例議会は
12月中旬頃の予定です。



農業経営の収支均衡が取れず、次年度への生産意欲が減退し、米作りから撤退せざるを得ない危機的状況のなかで、農業者と地域経済を守るための支援策を講じるよう要望しました。



支援策を要望!!

村民の広場

～スポーツクラブの紹介～

さめがわらん・RUNクラブ



さめがわらん・RUNクラブは、幼児から大人まで、体力向上、ダイエット、競技力アップなど、個人個人が様々な目的で走りを楽しむランニングクラブです。

現在の会員数は、小学生、中学生、高校生、一般の合計29名で、毎週日曜日に活動しています。小学生までは短距離、長距離の両方を体験してもらい、走る楽しみと自分の適性を見つけてもらいます。中学生、高校生は陸上大会・駅伝大会に向けて、それぞれが目標を持って頑張っています。大人の皆さんはマイペースに脚力を向上しています。一生懸命走った後の爽快感は最高です。一度覚えたらやめられませんよ～!

まずは、体験に来てみてください。親子での参加も大歓迎です!



【代表】石井 洋平

【コーチ】目黒 信一・鈴木 悟
須藤 勝美・佐藤 潤一

【事務局】さめがわスポーツクラブ
TEL 0247-49-3295
(トレーニングセンター)

編集後記

露霜が降り肌寒く、山々は紅葉のきれいな季節になってまいりました。コロナワクチン接種も2回目が終了しましたが、まだ感染予防には十分注意しなければなりません。コロナ禍の為、鮫川花火大会、うまいもの祭りなどが中止にな

り残念でした。しかし鹿角平観光牧場には週末になると、テントを張りキャンプをする人が数多く見られ、嬉しい限りです。

私たち議員の任期も一年わずかとなりましたので、残任期間を一生懸命に果たしてまいります。村民の皆様のご意見ご指導を宜しくお願い致します。
(広報編集委員)